

2025年度 冬季 テニス 大会 (女子団体戦)

主 催 (一財)港区体育協会 共 催 港区教育委員会

主 管 港区テニス連盟

大会役員 大会会長 佐藤 信利 ディレクター 野中 裕美
レフェリー 渡辺 明子
大会運営係 P3

日 時 2025年12月21日(日) 9:00~17:00

参 加 費 1チーム16,000円
※1チームにつき試合球ダンロップフォート2球入り(未開封)を3個を持参すること

会 場 有明テニスの森公園 インドアテニスコート(ハードコート8面)
東京都江東区有明2丁目2-22
当日の連絡先 080-3690-0619(野中)

種 目 女子団体戦

集合場所 インドアテニスコート A・Cブロック1番コート B・Dブロックは5番コート

集合時間 全チーム 8:50
※初戦に出るメンバー全員が揃ってから受付をしてください。

試合方法 ○予選リーグ：各ブロック総当たり
A~Dブロック：3対抗/6ゲーム先取
セルフジャッジ・ノーアドバンテージスコアリング方式
2試合で勝敗が確定しても、3試合目まで行います。
※同じメンバーが1対抗戦に2回出場は不可。
開始時に出場する5名が揃っていない場合はエキシビジョンとして行います。

○決勝トーナメント
A~Dブロック1位チームによるトーナメント戦 6ゲーム先取
セルフジャッジ・ノーアドバンテージスコアリング方式
先に2勝した時点で終了予定。
※進行状況により4ゲーム先取に変更する場合があります。
※試合開始時に出場する5名が揃っていない場合は、ダブルス2勝しても勝ち上がりません。
※決勝トーナメント準決勝終了後、15時頃よりリーグ戦敗退チーム優先でコート開放を行います。

表 彰 決勝トーナメント優勝・準優勝チーム

そ の 他

- ・試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。
- ・オーダー表の交換後のメンバーチェンジは認めない。
- ・リーグ戦終了後の空きコートや開放コートの使用は、各ブロック2~4位のチーム優先とする。
- ・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック」最新版に準じる。

チェアアンパイアのつかない試合方法(ルールブックより一部抜粋) 参加者は目を通しておいください。

・セルフジャッジの方法

1)サーバーはサービスの前に、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。プレーヤー同士、その時点のスコアを確認する。

2)ネットより自分側のコートについて判定とコールをする。ボールがラインにタッチした時、ボールとラインの間に空間が見えなかった時、あるいはボールを見失って判定ができなかった時は「グッド」である。ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えた時は「アウト」または「フォールト」である。

3)判定とコールは、相手にはっきりと分かる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行う。

4)ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペア両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、1人が「フォールト」、パートナーが「レット(グッド)」とコールした場合は「(サービスの)レット」となる。

7)インプレー中、プレーヤーがラケット以外の着衣・持ち物を相手コート以外の地面に落とした場合、それが1回目の時は、レットをコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。2回目以降、落とすたびにそのプレーヤーが失点する。レットのコールは、落とし物をしたプレーヤー・チームがコールすることはできない。

相手プレーヤー・チームが妨害を受けたと判断した場合に限りコールできる。ただし、落としたことがプレーに影響を及ぼしていない場合はポイントが成立する。

8)スコアがわからなくなった時は、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで双方が合意できるポイントを足したスコアから再開する。合意できなかったポイントは取り消される。ゲームスコアがわからなくなった場合も同様に処理する。

9)次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。

- a. 試合中、トイレ、着替え、ヒートルールなどでコートを離れる時
- b. 相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールト等に疑問、不服がある時
- c. プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起こった時

12)各判定とコールをする権利者は以下の通りとする。

- a. 「フォールト」「アウト」「グッド」はネットから自分側のプレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。
- b. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。
- c. 「フットフォールト」はコート内にいるレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれかが行える。

14)コート外からの妨害による「レット」のコールは両プレーヤー・チームができる。

15) 誤ったコールをした場合(クレーコートを除く)

インだったボールを誤って「アウト」「フォールト」とコール(ミスジャッジ)したとしても「グッド」に訂正(コレクション)し返球が正しく相手コートに入った場合、1回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2回目以降は故意に妨害したとして失点する。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウニングショット・エースまたは返球がアウトした場合は相手への妨害が起こっていないので、1回目であってもミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。ダブルスのペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤー/チームが「グッド」に訂正した場合も同様の扱いとする。

・コーチングなどについて

1ゲーム目の後、タイブレイクのチェンジコート時はコーチングは不可とする。

コーチングを行うのはそれ以外のチェンジコート時のみ、試合中のコーチングは不可とする。

ボールのイン・アウトの判定やコールは、コート内の選手のみが行える。

フットフォールトについては、港区ルールとして監督1名のみ気づいた時点で指摘することができる。

有明インドア使用 注意事項

- ①1F・2Fロビーは使用可能。設置のゴミ箱は使用不可。ゴミは必ず持ち帰ること。
- ②コート内での飲食は禁止。水分補給は可。
- ③コート内・コート脇にレジャーシートを敷く、椅子を置く、三脚を立て撮影することは禁止(床が傷つくため)。